

平成14年夏季企画展

稲と森の神

東アジア世界のまつりから見た弥生文化

平成14年7月20日 土 - 9月8日 日

企画展セミナー

場所=1階ホール
時間=午後2時~4時 [受付午後1時~]

第1回 7月27日 土

朝倉敏夫 国立民族学博物館教授
「韓国伝統文化とまつり」

第2回 8月 4日 日

佐々木高明 国立民族学博物館名誉教授
「東南アジアの稲作とまつり」

第3回 8月31日 土

大塚和義 国立民族学博物館教授
「森の民のまつりークマ送りの世界ー」



■ 開館時間
■ 入館料
■ 休館日
■ 交通

午前10時~午後5時 (入館は4時30分まで)
 毎週月曜日
 個人 一般400円 [320円]・高大生3000円 [2400円] (二日以内は団体料金・20名以上)
 小中生・65歳以上・障害者手帳を持つ方は無料
 電車 ● JR阪和線「信太山」駅下車徒歩7分 ● 南海本線「松ノ浜」駅下車徒歩20分
 駐車場 普通車80台・大型バス7台無料

大阪府立弥生文化博物館
 Osaka Prefectural Museum of Yayoi Culture

民博から弥生文化を切り取りました!

国立 民族学 博物館

弥生文化=南の文化+北の文化!

弥生に生まれた男女神が今も健在!

シャーマンの太鼓▼

(推定ロシア・シベリア/国立民族学博物館)

I 稲の神

稲作を守護する田の神や豊作、凶作を左右する稲にやどる穀霊にささげ物をお供えし、お祭りします。



▲稲の女神
(インドネシア・バリ島/国立民族学博物館)

II 境の神

村の入口や出口、峠、家の境などに、外から侵入してくる悪霊や疫病などを防ぎ止める神様が創り出されました。

チャンスン(道祖神)▶
(韓国・忠清南道/国立民族学博物館)

稲と森の神

(東アジア世界のまつりから見た弥生文化)

主な展品

- アジア各地の稲作儀礼に使われた稲の神や田の守護神像
- 東北地方で家の神や豊作祈願に使われたおしらさま
- 東北地方の村の境に立っている巨大なわらの道祖神
- 韓国に今もある、悪霊を防ぐ境の神、チャンスン
- シベリアや朝鮮半島のシャーマンの衣装や儀式の道具
- クマの魂を森にかえす儀式に使ったクマの頭骨

など約180点



地下大將軍

▲シャーマンの衣装
(ロシア・サハリン州/国立民族学博物館)

III シャーマンの世界

特殊な霊能力をもったシャーマンが身につけている鏡は悪霊を寄せつけないため、鈴は神を呼ぶためのものです。